

山形ワシントンホテル株式会社



宿泊・温浴施設

贈呈理由

ヒートポンプ式モジュールチラーの採用で、
大幅な省エネルギー・省コスト、CO₂削減を実現



山形七日町ワシントンホテル

山形市で最大級の客室数を誇る 県都を代表するホテル

山形七日町ワシントンホテルは、県都山形市の中心街「七日町」に立地する宿泊施設である。山形市役所を取り巻くオフィス街に隣接し、ビジネスの拠点としての利用や、歴史と伝統を伝える『文翔館』や『最上義光歴史館』などの文化施設、桜の美しい山形城址『霞城公園』も徒歩圏内にあるなど観光での利用にも最適である。ホテル内にある2つのレストランでは、山形の郷土料理やおいしい地酒を堪能することができる。

山形七日町ワシントンホテルとしての開業は1981年であるが、江戸末期に当地に創業した旅籠（はたご）が前身である。客室総数は213室と山形市内では最大級を誇り、これまでに多くのお客さまからご利用をいただき、その利便性や快適性を実感されている。

省エネルギーとCO₂排出量削減を 意識した空調リニューアル

同ホテルの空調システムは、重油焚吸収式冷温水機を利用していたが、経年劣化による重油使用量の増加やメンテナンス費用の増大が課題と



空冷ヒートポンプチラー

なっていた。それらの課題解決のため、省エネルギーとCO₂排出量の削減による社会貢献に向けて最適なシステムへの更新を模索した。

その結果、制御性や操作性に優れ、故障時のリスク分散にも有効なモジュール型の寒冷地仕様の高効率空調システムを導入するとともに、エネルギー最適化支援サービスによる電気使用量の“見える化”を図ったことにより、ランニングコストとメンテナンス費用の削減および省エネルギーと大幅なCO₂排出量削減を実現した。

一次エネルギー消費量削減効果

従来システム 重油焚吸収式冷温水発生機
一次エネルギー消費量:5,348.88GJ

採用システム 空冷ヒートポンプチラー
一次エネルギー消費量:3,302GJ

従来システム
採用システム **-38%**

(諸元)エネルギー使用実績比較
一次エネルギー換算値
※電気(全日)9.76MJ/kWh ※A重油39.1MJ/ℓ
※「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」

山形七日町ワシントンホテル

所在地:山形県山形市七日町1-4-31
設備設計:山形パナソニック(株)

設備施工:弘栄設備工業(株)

延床面積:8,800㎡

竣工:2019年更新

URL: <https://washington-hotels.jp/yamagata-nanokamachi/>

■設備概要

空冷ヒートポンプチラー
180kW×3台【東芝キャリア】



セントラル